

飲酒運転に対する非難の声は、06年8月に福岡県で発生した3幼児死亡事故をきっかけに大きなうねりとなりました。これを受けて、飲酒運転は07年9月に厳罰化され、

09年6月には

悪質・危険運転者に対する

行政処分が強化されました。

各都道府県警察は「脳に対するアルコールの悪影響」を機会あるごとに広報し、「飲酒運転撲滅」を呼びかけています。酒を飲むと安全に

必要な脳の情報処理能力、注意力、判断力が低下します。このことは十分承知しているはずです。

先人は、「酒は加減して飲むと、百薬の長。酒に飲まれるようになってはいけない」と教えています。付き合いには、

酒が人を飲むの教え

酒がつきものかも知れません。しかし、車にはガソリンは必要ですが、酒はいりません。遺族の悲痛な心の叫びを聞きましょう。



交通安全二口メモ